

活動日記



10/2 高松市戦没者慰霊祭



10/18 四国ドック労組 定期大会



10/28 高松市・金沢市
「文化・観光交流協定」締結式



11/1 坂出発電所視察



11/7 中核市サミット 2013in 下関



11/18_高松第一学園 英語教育視察



12/7 四労生研究フォーラム



12/22_ファミリー餅つき大会



12/23_木太北部 子ども会冬の祭り



1/13 2014 年高松市成人式



1/15_英語教育視察_粕壁小学校



1/17 ICTセミナー「オープンデータ」

発行:大西さとし後援会

<http://www.ohnishi-satoshi.jp>

◆後援会連絡所

〒760-0050

高松市亀井町7-9 高松電気ビル7階

TEL(087)837-2777 FAX(087)837-8783

◆後援会事務所

〒760-0080

高松市木太町 1849-1-602

TEL 090-8696-1730



12月定例会 代表質問の概略(抜粋)

学校教育関係について

ハートアドバイザー・スクールカウンセラ・スクールソーシャルワーカー配置事業について

○大西議員

各事業における効果は、平成25年度「高松市教育振興基本計画の進行管理および点検・評価に関する報告書」によると、

- ・「小中学校における暴力行為の発生件数」は、平成20年度の570件に対して平成24年度は225件
 - ・「小中学校におけるいじめ発生件数」は、平成20年度の314件に対して、平成24年度は110件
 - ・「適応指導教室の児童・生徒の学校復帰率」は、平成20年度の34%に対して、平成24年度が45%
- と、各事業とも取り組みに対する一定の成果が出ている。

内閣府による、政府、地方自治体、民間団体等による子ども・若者育成支援施策について「若者がどのように評価しているのか」についての調査結果では、相談対応や支援を行う機関・団体、支援の在り方のうち、支援を受けた中で最も効果のあったと感じたものについて、

- ・「医師や保健師などの医療関係者」24.0%
- ・「スクールカウンセラー」10.7%
- ・「臨床心理士などの各種カウンセラー」10.0%

となっており、専門的知識を有する者による支援が有効であることが、この調査結果からも明らかである。そこで、

- ① これまでの事業実施により積み重ねている知見について、どのように分析をしているのか。
- ② 事業実施により得た知見を効果的にいかすための情報共有はどのように行っているのか。
- ③ 今後、その知見をどのように活用していくのか。

◆松井教育長

① 本市では、暴力行為やいじめ、不登校などの生徒指導上の諸問題の解決のため、今年度は、ハートアドバイザーを小学校30校に、スクールカウンセラーを全小・中学校に、スクールソーシャルワーカーを全中学校に配置している。

それぞれの支援員が個々の子どもの心を落ち着かせるなど、直接的な関わりを始め、友達とのコミュニケーションの回り方の具体的な指導や、保護者と連携した学習や生活の支援など、子どもたち一人ひとりへの日々の継続的な働きかけが、暴力行為やいじめ、不登校等の減少という成果につながっているものと認識している。

② ハートアドバイザーについては、年2回研修会を開催し、具体的な事例をもとに情報交換を行い、児童理解のための知識の習得や適切な対応方法について協議し、技術の向上を図っている。

スクールカウンセラーについては、県教育委員会主催の連絡協議会に参加し、同一中学校区内の事例研究により、効果的な教育相談の工夫に生かしている。

スクールソーシャルワーカーについては、毎月の県単位で行われる研修会や、市教育委員会主催の連絡協議会で、具体的な実践事例をもとに、適切なかかわり型等を研修している。

③ 暴力行為など、問題行動等の未然防止と解消を図るためには、教職員はもとより、それぞれの支援員が適切な役割分担のもと、連携を強化し、組織的な生徒指導を行うことが重要である。

教育委員会として、これらの以遠員が、研修会や情報交換等で得た知識や技術を各学校の実態に即した取り組みに生かしてまいりたい。